

平成19年度事業報告書

実施事業の概要

平成19年度は、次の事業を実施した。

1. 広報誌「心と社会」の発行

今日の精神保健福祉が直面する重要課題を取り上げるとともに、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を内容とする「心と社会」を次のとおり発行した。

128号(平成19年6月29日発行) 226頁 2,500部

特集 メンタルヘルスの集い(第21回日本精神保健会議)

子どもの虐待をどう防ぐか

129号(平成19年9月18日発行) 132頁 2,500部

特集 現在の精神保健福祉活動における人材供給の問題点

130号(平成19年12月17日発行) 128頁 2,500部

特集 第51回精神保健シンポジウム(沖縄)

自殺予防に向けて何ができるか

131号(平成20年3月19日発行) 122頁 2,500部

特集 第52回精神保健シンポジウム(高知)

働く人のメンタルヘルス

2. 精神保健福祉関係冊子の出版

職場のメンタルヘルスに関連した問題を取り上げる「こころの健康シリーズ」を発行した。

1 「職場のメンタルヘルス活動の実際」 (平成19年8月発行)

(社)日本精神保健福祉連盟 常務理事 大西 守 8頁 30,000部

2 「長時間の時間外労働と自殺～過労自殺について～」 (平成19年9月発行)

東邦大学佐倉病院精神神経医学研究室 黒木宣夫 8頁 30,000部

3 「勤労者の自殺をめぐる諸問題」 (平成19年11月発行)

帝京大学医学部附属溝口病院精神科 張 賢徳 8頁 30,000部

4 「こころの健康を考えた人間関係のコツ」 (平成19年12月発行)

慶應義塾大学保健管理センター 大野 裕 8頁 30,000部

こころの健康シリーズ 1～12を一冊にまとめた合本を発行した。

合本 「メンタルヘルスと家族」 (平成19年11月発行)

96頁 7500部

3. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の精神保健関係団体と共催で、地域が当面する精神保健に関する課題をテーマにシンポジウムを開催しているが、本年度は下記のとおり実施した。

第51回精神保健シンポジウム（那覇市）

日時：平成19年7月29日 14:00～16:00

場所：那覇市ぶんかテンプス館テンプスホール

共催：琉球大学医学部精神病態医学分野

テーマ：自殺予防に向けて何ができるか

内容：シンポジウム

- ・「死にたい」気持ちを打ち明けられたら

近藤 毅 (琉球大学医学部精神病態医学分野)

- ・思春期・青年期患者の自殺関連行動

久場禎三 (琉球大学医学部精神病態医学分野)

- ・産業精神保健の中での自殺予防対策への取り組み

山本和儀 (山本クリニック)

- ・高齢者が陥りやすい自殺の危機

田中 治 (琉球大学医学部精神病態医学分野)

- ・総合討論

司会 仲本晴男 (沖縄県立総合精神保健福祉センター)

参加者：約140名

第52回精神保健シンポジウム（高知市）

日時：平成19年10月30日 12:30～16:30

場所：高知県民文化ホール（グリーン）

共催：高知県精神保健福祉協会

テーマ：働く人のメンタルヘルス 今、私たちの職場でできることは？

内容：講演

「職場におけるメンタルヘルス対策の現状と課題」

廣 尚典 (産業医科大学産業生態科学研究所精神保健学准教授)

：シンポジウム

「高知県における取り組みと今後の課題」～職場復帰を中心に～

シンポジスト

大野義文 (高知労働局労働基準部安全衛生課)

槇本宏子 (株式会社高知大丸総務・人事部)

杉原由紀 (高知県総務部職員厚生課)

竹本嗣康 (高知障害者職業センター)

コメンテーター

廣尚紀（産業医科大学産業生態科学研究所精神保健学准教授）

伊藤 高（メディカルカウンセリングルームいとうクリニック）

司会 大原啓志（高知産業保健推進センター）

真田順子（菜の花診療所）

参加者：約320名

4. メンタルヘルスの集い(第22回日本精神保健会議)の開催

大きな転換期にある日本の精神保健医療福祉。このような時代に精神科病院は、地域の中でどのような役割を担っていくのか。精神保健医療福祉の従事者、家族や当事者、行政、さらに市民の参加も仰いで、これからの精神科病院のあるべき姿について論じた。

日 時：平成20年3月1日 10:30～16:10

場 所：有楽町朝日ホール

テーマ：精神科病院のこれからを考える

内 容：特別講演

・「日本の精神科病院の軌跡を振り返る」

～千葉病院40年の体験から～

仙波恒雄(精神科医・日本精神科病院協会名誉会長)

：フォーラム

・「精神科病院のこれからを考える」

座長 白石弘巳(精神科医・東洋大学教授)

羽藤邦利(精神科医・メンタルケア協議会理事長)

パネリスト 川崎洋子(みんなねっと理事長)

宮本真巳(看護師・東京医科歯科大学大学院教授)

奥村茉莉子(臨床心理士・子育て工房心理相談室主宰)

佐久間啓(精神科医・あさかホスピタル院長)

川淵孝一(医療経済学者・東京医科歯科大学大学院教授)

総合司会 上別府圭子(看護師・東京大学大学院准教授)

参加者 373名

5. ホームページの内容を充実し、精神保健に関する情報を豊富にして、社会の啓発、精神障害への偏見是正に資した。

6. 日本精神保健連盟の一員として国内の精神保健福祉諸団体と協力した。また、広報誌「心と社会」の海外ニュース欄にて世界の精神保健関連情報を紹介した。さらにWFMH日本支部と情報交換を行った。